

1) システムの名称：

PD-S (ピーディー - エス) <ポータブルディスクシステム>

2) 対象業務、電子カルテシステム内での位置付け：

5. 画像検査系 (部門情報システム、PACS、レポート系、モダリティ他)

3) 特色：

地域連携などで重要度が増しているメディア (CD-R あるいは DVD-R) を使った DICOM 画像の出力が可能。  
IHE プロファイル PDI 準拠。  
DICOMDIR ファイルや簡易ビューワ、WEB コンテンツを含み、DICOM 画像と表示手段を提供。  
匿名化 CD の作成機能搭載。  
他院からの紹介 CD-R メディアから、サーバへの画像取り込み機能。

■ ラインナップ

PD-S 単板タイプ

PC 付属の CD-R ドライブで、一枚ずつ DICOM 画像出力するスタンダードタイプ

PD-S チェンジャータイプ

メディアチェンジャーを使用して、連続して DICOM 画像出力を実施する大量処理タイプ。

PD-S リモートタイプ (チェンジャーのみ)

SYNAPSE WS 上から依頼医が直接書込データを選択して、リモートで出力オーダーが可能で、PD-S 出力端末ではオペレーターを介さずに自動でメディア出力できるリモート出力タイプ。

PD-M

PD-S 単板タイプのラベル印字機能などを省略したコスト重視タイプ

4) 画面／構成図を含めた分かりやすい説明：

■ PS-S リモートタイプシステム概要図

<PD-S リモートタイプの場合>

診療画像のメディア書き込み機能 (PDI 準拠)、画像取り込み機能を搭載。  
他院紹介等でのメディア運用をこの 1 台に集約。



■ 他院への紹介

- ① リモートで DICOM 画像データ出力の指示を実施する。
- ② DICOM Q/R で出力画像データを取得して、メディアに焼きこむ
- ③ 出力したメディアで他院に紹介

■ 他院からの紹介

- ①' 他院から紹介された患者様のメディアを受け取る
- ②' メディアから画像データを取り込む
- ③' 紹介患者データを画像サーバに保存する。

5) 標準化への対応状況、未達成の場合対応予定および対応のための追加費用の有無：

<IHE-J 準拠> Actor : Portable Media Importer、Integration Profile : PDI  
Actor : Portable Media Creator、Integration Profile : PDI

6) 動作環境（ソフトの場合）、ハードスペック（ハードの場合）：

②クライアントスペック

OS : Microsoft Windows XP ProfessionalSP2 日本語版推奨 / Web ブラウザ : Internet Explorer 6.0SP1 以上  
CPU : Intel Pentium4 3.2GHz 以上推奨 / メモリー : 256GB 以上推奨

7) 稼働までに必要な作業・期間：

1 日～1 週間（システム規模や施設状況による）

8) 価格（桁数（日本円における桁数）、「ご相談」は不可、桁数帯・金額・金額帯を入れても良い）：

6～7 桁（システム規模により算出）

9) 保守の内容と費用：

導入初年度は無償、次年度以降は有償保守契約にて対応しています。  
費用：6～8 桁（システム規模とご要望内容により算出）

10) 問い合わせ先（販売会社 担当者、URL、e-mail 等）および開発元（もし別途あれば）：

富士フイルムメディカル株式会社 <http://fms.fujifilm.co.jp/>  
IT ソリューション事業本部 事業推進部  
〒106-0031 東京都港区西麻布 2-26-30 富士フイルム西麻布ビル  
TEL. 03-6419-8040 FAX. 03-5469-3468